

子どもの本だな 99

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ぞうのホートン たまごをかえす

ドクター=スース さく・え
しらき しげる やく (偕成社)

ぞうのホートンは、なまけどりのメイジーに頼まれ、ほんの少しの間、卵を抱くことになりました。ホートンは、巣のある木が倒れないようにつっかい棒をすると、そろりそろりと木に登り、卵の上に腰をおろしました。ところが、一晩たってもメイジーは帰ってきません。ホートンは、嵐の日も雪の日も卵を抱き続けました。猟師に見つかっても動くことができず、ホートンは木にのったまま生けどりにされました。サーカスに売られ、町から町へ。見世物にされても守り続けた卵から 357 日目に出てきた鳥には、耳としっぽがあつて、ホートンにそっくりの鼻をしていました。

自分の身になにが起ころうと、約束を守るお人よしのホートン。展開の速いお話は動物たちの愉快的な表情でより生き生きとしています。読んでもらえば4歳くらいから楽しめます。

(竹内)

氷の花たば

アリソン・アトリー 作
石井 桃子・中川 李枝子 訳
(岩波書店)

チェリーは、木こりの子には似合わず、優美できれいな娘でした。裁縫が得意で、町のご婦人がたから注文をもらい、仕立物をしあげます。

ある晩、仕事を終えて炉の火を見つめていると、炎の中から金色のクマが現れました。クマは、城跡に生えるイラクサで上着を縫ってほしいとチェリーに頼みました。イラクサを縫い合わせて作った上着は、クマにかけられた魔法をとく鍵だったのです…。(「木こりの娘」)

吹雪の夜、道を教えてくれた不思議な男に娘をやることになってしまった父親の話(「氷の花たば」)、貧しいおばあさんのところへやってきた少年の話(「麦の子ジョン・バーリコン」)など6篇。どれも自然の不思議や豊かさを感じさせるお話です。9~10歳くらいから。

(池田)

| 2月 | 3月 | 2・3月の移動図書館 (いずれも木曜日です) | | | | |
|-----|-----|-------------------------------------|--------------------------------------|--|--|--|
| 3日 | 3日 | 塚森 地域内 10:30~ 10:50 | 沖代 地域内 11:00~ 11:20 | 福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50 | 米田 公会堂 15:00~ 15:20 | 竹広南 公民館 15:30~ 15:50 |
| 10日 | 10日 | | | 原池団地 公民館 15:00~ 15:20 | 山田 掲示板前 15:30~ 15:50 | 原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20 |
| 17日 | 17日 | 広坂 公民館 10:30~ 10:50 | 上太田 公民館 11:00~ 11:20 | | 太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50 | 吉福 公民館 16:00~ 16:20 |

📌 <お知らせ> 📌

毎週土曜日に

「おはなしの時間」
を開いています。

- ・4歳~小学2年生
11:00~11:30
- ・小学3年生~中学3年生
11:30~12:00

2月のおはなしは、「まめこじぞう」「雌牛のプーコラ」「岩じいさん」などを予定しています。詳しくは、プログラムをご覧ください。

『 アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？ 』

これからの経済と女性の話

カトリーン・マルサル 著

高橋 璃子 訳

河出書房新社

284 頁

2021 年 11 月刊

2,100 円

(請求記号)331

経済学の父、アダム・スミスは「我々が食事を手に入れられるのは肉屋や酒屋やパン屋の善意のおかげではなく、彼らが自分の利益を考えるからである。つまり、利益の追求・利己心が、経済・市場(しじょう)を動かすと定義した。確かにアダム・スミスの夕食は肉屋やパン屋の利益になっただろうが、そのステーキはだれが焼いたのか？それは、息子の世話をし続けた母だった。彼が『国富論』を執筆するための身の回りの世話はすべて経済から無視された。無視された役割は往々にして女性の仕事とされた。子育てや掃除・洗濯といった家族のための仕事は目に見える財を生まないとき、女性の献身は経済から排除された。お金の世界と思いやりの世界は切り離され、お金の世界は思いやりや共感やケアの概念を失った。こうしてケア労働は、家庭を離れて病院や保育園、介護施設に移つてからも経済的に低く見られているのだ。

一方、お金の世界で生き抜くために、今あるものに満足せずさらに上をめざす「経済人」という新たな人間像が生まれ、経済学は現代社会を統べる「宗教」となった。

しかし、1980年代以降のサッチャーとレーガンの新自由主義は、政府の役割を紙幣発行・軍事・司法の領域に限定し、市場を拡大して大地や水・空気、ケア、教育まで売買の対象としたために、超格差社会を生じさせた。1000人の超富裕層資産が25億人の低所得者の総資産より多いのはどう考えてもおかしい。

著者はジェンダーの観点から経済システムや経済学理論が、いかに男性中心に作られているか、そして、それが私たちの価値観を作り日常を支配するかを述べる。ユーモアとウィットに富んだ口調で核心をつきながら、私たちが取り巻く世界の見方に新しい視点をもたらす。(大西)

2月の開館日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------|--------------|----|--------------|----|----|
| | | X | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | X | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | X | X | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | X | 23 | X | 25 | 26 |
| 27 | X | | | | | |

3月の開館日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|--------------|--------------|--------------|----|----|
| | | X | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | X | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | X | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | X | X | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | X | 30 | X | | |



- ▶ ×印は休館日
(2/14、2/24、3/23 は祝日の振替
2/28、3/31 は館内整理日)
- ※閉館時は返却ポストへ返却してください。
- ▶開館時間は 10:00~18:00
金曜日は 20:00 まで開館

地下水

昨年末から、館報の「図書館の本棚」で紹介した一般書を集め、館内で展示をしている。1月末までの予定だったが、手に取られる方が多く、場所を変えてもうしばらく続けることになった。

私が数年前に紹介した本『パリの国連で夢を食う。』(川内有緒著)をたまたま手にした利用者が「面白かったから同じ作者の他の本が読みたい。」と言って何冊か借りていかれたことを職員の1人が教えてくれた。「前に紹介してくれた『漂流の島』(高橋大輔著)、久々に見かけたらまた読みたくなったよ。」と利用者が声をかけてくださったこともあった。

こんな声を聞くと、自分が紹介した本を利用者が読み、楽しんでくださったのだと素直に嬉しく、少しほっとした気持ちになる。もうすぐ、本棚の担当月がやって来る。次はどんな本にしようか。また誰かの手に渡り、楽しんでもらえたら嬉しい。

2月から図書館では、22~26日に斑鳩寺で行われる、スズキコージライブイベント「斑鳩民謡画祭」に合わせ、スズキコージさんの絵本や画集を特設展示しています。ぜひ手にとってご覧ください。(池之上)